

府中校 たまねじトピックス



快晴の文化の日、技能祭が開催されました。

都立職業能力開発センターでは11月の職業能力開発促進月間に、「ものづくりを支える人材」を育て「競争力ある東京のものづくり産業を築く」という視点から、技能の重要性について広く都民の皆様にお伝えするため、技能祭を行っています。また、府中校ではお隣の府中市立心身障害者福祉センター『福祉センターまつり』と共同開催となっており、スタンプラリーやお互いの施設を見学し、交流を深めるいい機会となりました。当日は晴天に恵まれ、800名以上の来場者があり大盛況でした。

●工作教室

未来のものづくりを担う人材を育てるために、府中校技能祭では各種工作教室が行われています。今回は、その中から電気設備技術科のマグネシウム燃料電池カー工作教室を紹介します。

いつもは訓練を受けている生徒が指導する側となり、子供たちにやさしく指導する工作教室ですが、今年度も大好評で、午後の部は定員15名のところ59名の方が参加を希望され、抽選となってしまいました。抽選にはずれてしまったみなさま、ごめんなさい。来年もお待ちしています。

●苗木の無料配布

例年ご好評をいただいている苗木の無料配布ですが、今年はブルーベリー、シャクナゲ、サツキ、ガクアジサイの4種類をご用意させていただきました。

多くの方に並んでいただき、11時過ぎには整理券配布終了となりました。今はまだ小さな苗木ですが、年を重ねるごとに庭先に彩りを添えてくれることを願っております。



電気設備技術科工作教室の様子



苗木配布を待つ様子

普段一生懸命訓練を受けている訓練生にとって、束の間の非日常であり、近隣の皆様への感謝を伝える良い機会でもありました。就職に向け、授業では気が付かない一面に気付き、目標へ向け、訓練に臨む良い励みとなったことと思います。

技能祭のもう一つの目的は、求職している人やそのご家族に当施設を知ってもらうことにあります。今回は元気に勉強している在校生の姿をお見せすることができ、大成功だったと自負しております。今後ともよろしく願いいたします。